

ご案内先 各位

2024年11月吉日
(一社)日本自動認識システム協会
バイオメトリクス部会

**生体認証を円滑に導入するポイントを学ぶ
「デジタル倫理ワークショップ」
名古屋開催案内**

近年、生体認証は性能が向上、業務改革に欠かせない技術として取り入れられるようになりました。一方、プライバシーの侵害や個人情報の目的外利用などのリスクが指摘され、普及拡大を妨げになるケースも見受けられます。

そこで、本ワークショップでは生体認証に関わる Web ニュースの中から、国内外で注目されている事案をベースにケーススタディを行い、円滑に導入するためのポイントを専門家を交えて学びます。

1. 開催概要

- ・開催日：2024年12月5日（木）14:00–16:30（開場 13:45）
- ・会場：AP名古屋（地下鉄名古屋駅より徒歩2分）
- ・募集：20名（参加料無料、事前登録制、申込順）

■プログラム（概要説明：次紙）

1. はじめに ー ワークショップの進め方	…14:00～
2. ケーススタディ1（視点や考え方の違い） ー 生体認証導入は良いことか？、悪いことか？	
休憩（Coffee Brake）	
3. ケーススタディ2（今回テーマ：スマートシティー） ー 安全・安心と人手不足解消・付加価値向上の検討（異業種連携）	…15:00～
4. まとめ（注意すべき点） ー 生体認証導入時の配慮事項 ー国内外法令、ガイドラインの紹介	…16:00～
5. 情報交流	…16:20～

※数名のグループで意見交換、気づきを発表、専門家の方から講評いただきます。

3. 参加申込

JAISA 個人情報保護方針(https://www.jaisa.or.jp/privacy_policy.php)をご確認の上、下記 URL の申込フォームに必要事項を記入し、お申し込みください。

【参加申込サイト】↓↓↓

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oeka-mbkdcq-2f36157b5b307f132e812a1c073f864f>

4. 本件問合せ先

一般社団法人 日本自動認識システム協会 (JAISA)
研究開発センター 生体認証担当 川嶋 一宏 (k-kawashima@jaisa.or.jp)

以上

※本 WS は経済産業省の委託事業の一部として実施するものです。

1. デジタル倫理ワークショップについて

デジタル倫理ワークショップ2024

日本自動認識システム協会
バイオメトリクス部会

【背景】

- 技術の進化は私たちの生活を便利に！
- 新技術と人間の共生を考える時代の到来。
- 利活用では倫理観が求められ、視点を広げ、人間や社会にとって必要なことの実践へ！

【ワークショップ (WS) の目的】

- 人工知能や生体認証を活用した事業の在り方や生じるリスクを考える。
- その視点を利用者や提供者で共有する。
- 人間や社会の多様性によって変化することを教えられる講師の育成する。

【2024年度 開催日程】

2024年10月10日現在

- 10月9日-水・東京開催 (機械振興会館)
- 12月5日-木・名古屋開催 (参加受付開始)
- 2月3日-月・大阪開催 (開催準備中)

【プログラム】

情報交流の場を提供するものです。

1. はじめに
＞メンバー紹介とルール説明
2. Case Study 1
＞悪いこと？良いこと？
3. Case Study 2
＞地域の安全・安心
＞人手不足解消と付加価値向上
4. まとめ
＞注目すべき法制度と国際標準
＞参考とすべき国内ガイドライン
5. Free Discussion

※本WSは経済産業省の委託事業の一部として実施するものです。

【問い合わせ先】

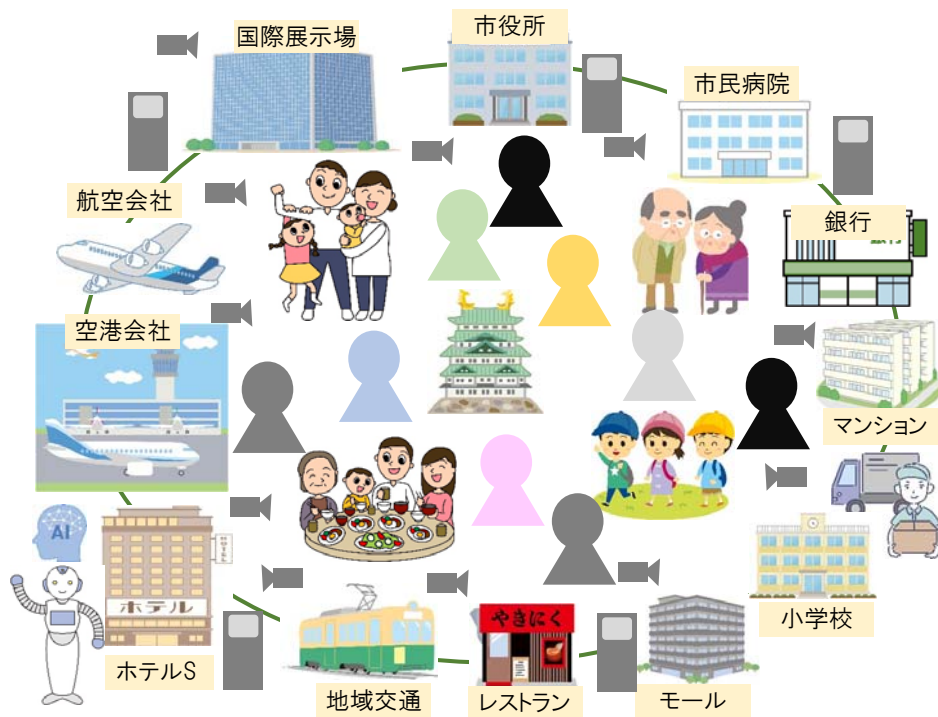
日本自動認識システム協会(Jaisa)
バイオメトリクス部会
主任研究員 川嶋 一宏
(k-kawashima@jaisa.or.jp)

(C) 2024, JAISA

1

2. 今回のテーマ「スマートシティ」

- 特徴：未来都市、広い敷地、広いエリア
- 施設：国際空港、国際会議場、ホテル、商業施設
- 設備：防犯カメラ、決済端末、デジタルサイネージ等



導入組織	導入目的
国際展示場	人流データの取得・分析による「選ばれたイベント会場」の実現
市役所	地域の安全、安心、個々の来訪者に最適化した観光案内の実現。
市民病院	医師や看護師のカルテ等の記録作成作業や情報連携の効率化
銀行	金融手続きのスマホ完結、手ぶら決済による困り込み
マンション	住民の安全安心、見守りサービス 宅配の再配達防止
小学校	スムーズな社内教育やデジタル社内資格マニュアルの実現
モール	顧客の買い物体験価値とポイントによる再来店率の向上
レストラン	待ち時間のエンタメ化や効率的な運営の実現
地域交通	乗客の安全・安心、自動運転による人手不足の解消
ホテル	快適な宿泊体験のためのスマートチェックインカウンター実現
空港会社	空港の安心安全を、人手に頼らない警備システムの実現

内容	開始時刻 (分)	備考
1. はじめに (1) 講師紹介と役割 (司会者、発表者) (2) ルール説明 (旗、カード、作業シート)	14:00~(20)	
2. 良い?、悪い? (Case Study 1) ー 国内外事案 (1件程度)	14:20~(30)	視点の共有と 違いの把握
休憩 (Coffee Brake)	14:50~(10)	
3. 情報連携の検討事項 (Case Study 2) (1) 導入メリット (2) 検討すべき事項	15:00~(60) ・個別検討(30) ・G別発表(30)	安全・安心 人手不足解消と 付加価値向上
4. まとめ (注意すべき点) (1) 生体認証の必要性と検討事項 (2) 参照すべき国内ガイドライン	16:00~(20)	
5. 情報交流 (Free Discussion)	16:20~(10)	

4. デジタル倫理ワークショップ 開催実績

■ 東京開催 2024年10月9日 (水) 14:00~16:30 参加25名

【Case Study 1】

- > 悪いこと?
- > 良いこと?



異なる意見

【Case Study 2】

- > 地域の安全・安心
- > 人手不足解消と
付加価値向上



立ち上がる参加者

【まとめ】

- > 注目すべき法制度と
国際標準
- > 参考とすべき
国内ガイドライン



参加者と講師の意見交換